

オープンワークショップ

活動紹介の後、参加した皆さんに「地域情報を共有するアイデア」を「アイデア出しシート」に記入していただきました。

休憩をはさんで、最後に、中野島の活動を支援していただいている東京都健康長寿医療センター研究所の倉岡正高先生と、藤原佳典先生の御講評をいただきました。



いろんなアイデア
が出ました

- ★今日のように団体同士が活動内容を知ることが大切
- ★回覧板や掲示板の利用、掲示板を増やす
- ★中野島地区催し物カレンダーを作る
- ★SNSも活用
- ★タウンニュース多摩版
- ★バス停、スーパー、病院などにチラシ・パンフレットを置く
- ★あいさつ運動のモデルロード
- ★口コミがいいと思う
- ★町会の人に聞いてみる など

倉岡先生の講評



「地域の情報」の本質は、その背景にある地域への「思い」です。地域の思いや期待が思ったとおりにならないと感じているから、課題として上がったのでしょうか。情報がどういふふう伝わっていくかは非常に重要なことです。

活動やイベントに参加するときに決め手となる有効な手段は「口コミ」です。それは信頼している人からの情報だからです。チラシなどは顔が見えないので、補うために、「私■■■(名前)からのお知らせです」とするのでも方法です。チラシを配るときには思いも伝えるようにしましょう。まち全体がメッセージを出し続け、いろんな機会でも伝えられていくこと、魅力的な場所があること、人と人がつながって、口コミが広がっていくことでプロジェクトが生きてくると思います。

藤原先生の講評



多世代交流によって子どもたちが地域で家族以外の大人と知り合い、信頼できる大人をつくることは子どもの発達や心の健康に良いといわれています。シニア世代が地域で活躍することで、その背中を見ている次の世代も育ちます。シニア自身も活動することで健康につながります。

本日の発表の中でもヒントがたくさんありました。子どもとゲームをすることで認知症予防になりますし、ポールウォークをしながら見守りをしたり、ソーラン隊などを子どもとシニアの混成チームで練習したりと、多世代交流と健康づくりにつながる工夫をしていただきたいと思います。

休憩とお楽しみ



参加者アンケートの声：

- ★各団体の活動内容がよくわかりました。
- ★ポール de ウォークに参加しようと考えています。
- ★来年も参加しようと思います。



中野島老人いこいの家で活動しているフラダンスグループ



ボランティア団体「ひよっこりガーデン」の方が淹れた香り豊かなハーブティー(今回のハーブは「はぐるまの会」のご提供)



多摩区あゆ工房が作った「チャーリー君クッキー」(モチーフはカリタス学園の生徒有志によるボランティア団体「アンジェラスの会」発案のオリジナルキャラクター)



中野島商店街のパン工房「花の木」アンパンと塩パン

中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会

中野島多世代つながり愛フォーラム

開催しました！

あいさつでつながる心 咲く笑顔



～多世代でつながり合い、支え合えるまちづくりを考えよう～

平成31年(2019年) 2月23日(土)
10:00～12:00 場所：中野島会館



「中野島多世代つながり愛プロジェクト」とは、

中野島で「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」という目標のもと、中野島地域の皆様方と協議会を構成し、あいさつ運動や多世代の交流の場づくり等の活動を通じて中野島への愛着を育むプロジェクトです。

このフォーラムは、いつまでも愛着を持って住み続けたい中野島を目指して、これからの地域を考える地域住民主体のイベントです。



昨年のフォーラムでは、ワークショップの中で「中野島の様々な場所に多世代が集える居場所があるといい」、「地域情報が統括されている情報共有の仕組みが必要」などの声がありました。1年を経過して、「居場所」は少しずつ増えてきました。

今回のフォーラムでは、地域で活躍する5つの団体に活動紹介をしていただき、その後、オープンワークショップにおいて皆様から「地域情報を共有するアイデア」を出していただきました。



田村会長

活動紹介

中野島地区社会福祉協議会



社会福祉協議会は、地域でみんなが幸せに安心して暮らせるようになるにはどうしたらよいか、いろいろな人や団体が集まって地域の課題を解決していく民間の団体です。

主な事業は、「社会福祉のつどい」、「社会を明るくする運動」、「赤い羽根共同募金への協力」などです。総務部では理事研修会を毎年実施、今年度は町会と共同で中野島防災ネットワークづくりをテーマに実施しました。年2回広報誌を発行し、地区全戸に配布しています。



福祉部では「心のいやしコンサート」を開催したり、毎年高齢者世帯へ年賀状を送っています。また、小中学校の福祉学習への協力として、福祉用具の体験なども実施しています。



青少年幼児部では「親子体操教室」、「子育て講演会」、中野島幼稚園の協力で「幼児のつどい」などを開催しています。そのほか、年6回の老人会食会、ミニデイたんぼぼなどの活動を行っています。

まち・人・くらしプロモーター

まち・人・くらしプロモーター（通称まちプロ）は、中野島地区における多世代交流の企画・運営・サポートを行っています。助け合いのきっかけづくりや、日常生活の困りごとの解決や社会参加の機会を増やすことを長期的な目標としています。

「中野島ファミリーカフェ」は昨年3月スタート、第2・4金曜日に中野島公民館で開催しています。地域にかかわりのある人やまちプロが講師となり得意な分野で活躍しています。子育て世代の加入により、季節のイベント開催やSNSの活用による広報もしています。ぜひご覧ください。



「ポール de ウォーク」はカントリースキー選手の夏のトレーニングとして開発されました。ポールを使うことで歩行が安定するのももちろん、腕を振る、歩幅が広がる、姿勢がよくなることで、通常歩行より運動効果がアップします。

毎月第2月曜、第4水曜に活動しています。多摩川の里に集合、下布田公園から多摩川の土手を歩き、ニヶ領用水、上布田つどいの家の前の公園で小休止して脳トレゲームを行っています。そして下布田公園にゴールしてクールダウンという流れです。保育園の園児との交流もあります。まちプロが公認指導員の資格を取りましたので、安心してご参加ください。

これからも心地よく暮らせるきっかけづくりをしていきたいと思っています。一緒に活動する仲間を募集しています。

あいさつで
つながる心
咲く笑顔



ロゴマークは地域の小学生、標語は中学生が考案しました。

中野島町会

現在、中野島町会には約4,800世帯が加入、役員や組長は合わせて約600人です。10の部と防災委員会で構成されています。主な活動は、総務部ではホームページによる情報発信や町会報の発行など。土木部ではフラワーロードマップの作成や、道路補修の必要性の連絡など。スポーツ振興部では連合運動会など。子ども部では夏休みのラジオ体操など。防災委員会では防災マップの作成、街角消火器の設置など。防犯部では下校時の見守りパトロールなど。消防部では地域の防火に関する活動など。交通部では交通安全運動など。教養部・福祉部ではバス旅行やさわやかサロンの計画などを行っています。そのほか、地域の団体と共催で中野島音楽祭、盆踊り大会、中野島稲荷神社例大祭なども実施しています。

会員の高齢化や役員のなり手がいない、加入者が増えないなどの課題がありますが、顔見知りが増え、地元愛が深まり視野が広がるなど、よいこともたくさんあります。これからも助け合い、つながりの強いまちづくりを目指していきます。



中野島こども文化センター



中野島こども文化センターは子どもだけでなく、地域の方々にも利用していただいています。こども文化センターの多世代交流活動をご紹介します。

エンジェルまつりでは中野島老人いこいの家のフォークダンスチームと子どもたちが一緒にダンスをしました。いこいの家の講座発表会に小学生のロックソーラン隊が参加してソーラン節を披露し、喜ばれました。中野島稲荷神社演芸大会でも披露し、保護者にも楽しんでいただきました。

また、こども文化センター運営協議会と小学生がマンカラというおはじきを使った簡単な遊びを楽しみました。

地域の方にボランティアで子どもたちに卓球を教えていただいたり、折り紙などの昔遊びを楽しむなど、これからも多世代交流の活動を上げていきたいと思っています。



稲田中野島地区民生委員児童委員協議会

稲田中野島地区民生委員児童委員協議会の一番の活動は、住民の身近な相談相手です。中野島・布田で24名の民生委員児童委員がおり、うち2名が主任児童委員です。定員は27名ですので、3名欠員しています。守秘義務があり、個人情報の保護を厳守しています。社会福祉協議会の会員でもあり、ともに活動をしています。

主な活動は、地域の状況把握、高齢者の見守り訪問、一人暮らし高齢者調査などです。月1回定例会を開き、情報交換をしています。第2土曜日は子育てサロンバンビを主催し、子育て相談や仲間づくりの場としています。研修では、東京本所の防災教育センターを見学し、救命救急法や災害時体験、AEDの使用体験などを勉強し、災害時要援護者の援護に役立つと思います。男性の一人暮らし高齢者を対象にした「さんさん会」、社協や町会、老人会と一緒に会食会や下校時パトロールなどを行っています。

これからも「隣人愛」の精神で弱者に寄り添いながら活動を続けたいと思います。

